

十 赤れんが便り

Information of Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology

特集 トヨタ産業技術記念館「25年の軌跡」

Vol.82

開館25年 トヨタ産業技術記念館が誕生するまで



トヨタ産業技術記念館 工事中



トヨタ産業技術記念館 1994年開館時



トヨタ産業技術記念館 着工前



トヨタ産業技術記念館

「モノづくり」の大切さをお伝えしてまいります。
これからも、「研究と創造の精神」と

当館は25年前の1994年6月11日、トヨタグループの共同事業として、グループ発祥の地、ここ栄生に設立され、以来、600万人を超えるお客様にお越しいただいております。多くの皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さをお伝えするべく、実物の紡織機や自動車の製造機械を動かし、スタッフが実演を交えてモノづくりの過程を説明しています。

「一つの布が出来上がるまでの工程に気が遠くなる程膨大な手間がかかっている事を知り、物は大切にしないといけないと思った」

「豊かに生活できるようになったことに感謝する気持ちが生まれる」

「モノづくりに対する真摯で諦めない、より高みを目指していこうとしている姿勢を感じる」

「モノづくりの歴史は、挑戦の歴史であり、私も、明日からもう少し頑張ろうという気になった」

「困難なチャレンジを避けがちの今の私にとって、深く染み入る言葉の数々」

来館者から、このような声を寄せていただき大変光栄に思っております。

「紡織や自動車も日々進化している。十年一日のごときの展示ではなく、ときどき見直し、広い視野でみて節目となった技術や機械を紹介していくなければならない」「また最新の機械や製品を見せることで、何もないところから始まったものが、いかに進化してきたかがわかるだろう」

これは、当館の初代理事長、豊田英二が、かつて当館について述べた言葉です。この、当館設立の趣旨を心に刻んで、これからも展示内容を充実させ、「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さをお伝えしていく所存です。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



トヨタ産業技術記念館
館長 飯島 修



●● 入館者実績で見るトヨタ産業技術記念館 ●●

豊田喜一郎の生誕100年にあたる1994年6月11日に誕生した当館は、
今年で開館25年を迎え、5月19日に累計入館者600万人を達成しました。



2002年9月



2007年6月



2011年5月



2014年8月



2017年2月

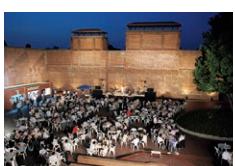


2019年5月



25年間の思い出

MEMORIES

1994年10月
天皇皇后両陛下ご視察1995年8月
ピアガーデン
「赤レンガの宵物語」開催2003年5月
2003サンデーミュージアム
コンサート2007年11月
当館建物及び所蔵品が
「近代化産業遺産」として認定2008年5月
秋篠宮殿下ご視察

展示の変遷

リニューアルを重ね、進化を遂げてきた展示の移り変わりを
当時の写真とともに振り返ります。

1994年6月
完成披露式典



2005年1月
開館10周年自動車館増築、
リニューアル



2010年4月
開館15周年を機に
テクノランドをリニューアル



1990年代

1992 1994 1995



1995年8月
豊田商会移築完成披露式典

2000年代

2005 2007



2007年1月
1898年製蒸気機関追加展示

2010年代

2010



1992年9月
起工式 地鎮祭



2005年12月
パートナーロボット
(ハリー) 常設展示



2012年12月
最新の開発技術を紹介する
「TODAY for TOMORROW」リニューアル

2014年1月
開館20周年を機に自動車館の
創業期ゾーンリニューアル



※出現した煙突の遺構を露天展示

2018年1月
金属加工コーナーリニューアル



2015年5月
排水対策で
動力の庭
整備

2018年2月
自動車館のバーチャルファクトリー
コーナーリニューアル



※生産工程の解説にトヨタ自動車東日本の映像を活用

2019年6月
現在の織維機械館、自動車館



2012

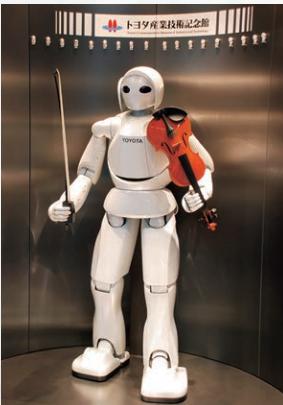
2014

2015

2017

2018

2019



2014年6月
パートナー
ロボット
(パール)
常設展示



2017年9月
「TODAY for TOMORROW」
リニューアル



2018年7月
トヨタ創業期試作工場
～クルマづくり出発の地～一般公開
※愛知製鋼 刈谷工場敷地内

2017年7月
佐吉翁胸像設置



※旧江西小学校に
設置されていた
豊田佐吉の胸像
を受贈し、エン
トランスに移設

2019年6月
現在のトヨタ産業技術記念館外観



企画展の歩み

トヨタグループ関連、日本のモノづくりの源流ともいえるトヨタコレクション展など
さまざまなテーマでモノづくりに関する企画展を開催してきました。

トヨタグループ
特別展

豊田佐吉発明展
(1995年10月)



豊田喜一郎没後
50年特別展
織機から紡績機械、
自動車へ
(2002年3月)



豊田自働織布工場
100周年特別展
トヨタグループの源流
～この地から～
(2011年9月)



豊田喜一郎生誕120周年特別展
喜一郎の夢
(2014年6月)
※2015年4月に常設展示化



開館20周年特別展
喜一郎の夢、その後
(2014年10月)

豊田佐吉生誕
150周年特別展

佐吉がめざした理想の機械
環状織機展
(2016年11月)

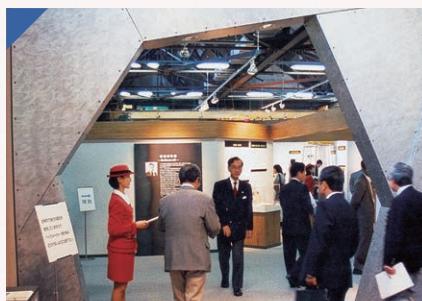


研究と創造の生涯
佐吉の志と、それを支えた人々
(2017年2月)

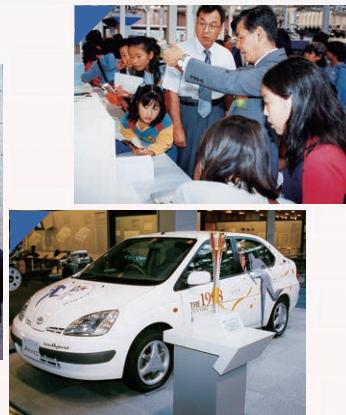


引き継がれる佐吉の志
～私たちの暮らし、トヨタグループと～
(2017年10月)

企画展



鉄鋼材料展
(1996年10月)



自動車の高分子材料
(1999年10月)



自動車のボデー展
(2000年10月)



自動車の電気・電子展
(1998年10月)



20世紀デザインの異才
ジャン・ブルーヴェ
(2005年11月)



布ものがたり
(2006年8月)



見て触れて感じる
ユニバーサルデザイン展
(2007年10月)



働くロボット
(2006年10月)



知ってびっくり!
ここまで進んだセーフティ
～自動車の安全技術展～
(2008年10月)



～織りの美・おどろき発見～
ジャカードの世界
(2009年5月)



ノーベル賞を受賞した日本の科学者
(2012年7月)



ふわふわの、ひみつ。
タオルとタオル織機展
(2013年9月)



みんなで創る新しいミライ
～さあ、水素の時代がやってくる～
(2016年10月)

トヨタコレクション展



豊田喜一郎没後50年特別企画
トヨタコレクション展
～日本のモノづくりの源流～
(2001年10月)



覗いてみよう!
レンズの向こうは100年前
(2015年10月)



100年前のオーディオ
～蓄音機が変えた音楽の愉しみ～
(2018年9月)

トヨタ産業技術記念館
25年の軌跡

イベントの足跡



お客様の要望にお応えし、
さまざまな年代向けに多彩なイベントも開催。

1999年09月 ▶▶▶

「トヨタグループアイデアコンテスト作品展」

2019年03月

トヨタ技術会「アイデアオリンピック」作品展示会



2017年に復活。前年11月に「アイデアオリンピック」で発表されたユニークな車を展示します。乗車体験もできます。



2010年03月 ▶▶▶

テクノライブショー開始

2019年

テクノライブショー



機械の原理や仕組みをお子様にも分かりやすいように実験を交えて解説。プログラムを増やしながら土日祝日に開催中。



1994年08月 ▶▶▶

第1回モノづくりワークショップ

2019年

春休み発見☆体験ミュージアム



週末ワークショップ

ワークショップは予約制で人気のイベント。モノづくりの楽しさを体験できます。



1995年06月 ▶▶▶

第1回開館記念イベント

2018年

開館記念特別イベント



1年に1回開催、展示車両が動く姿は一見の価値あり。初代クラウンにも同乗することができます。



2018

2015年07月 ▶▶▶

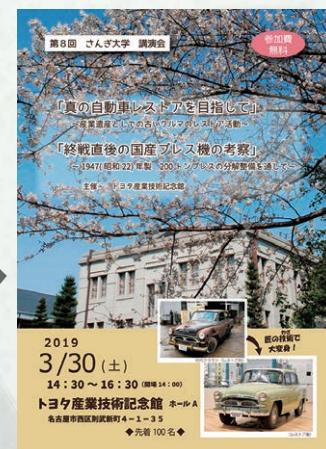
第1回さんぎ大学

2019年03月

第7回さんぎ大学



大人向けにモノづくりに関する講演会を開いてほしいという要望にお応えしました。



2019年3/30(土)
14:30~16:30(開場14:00)
トヨタ産業技術記念館 ホールA
名古屋市西区則武西町4-1-35
◆先着100名◆



当館は、1994年6月11日 豊田喜一郎生誕100年にあたる日にオープンしました。

開館25周年を迎えるにあたり、当館に展示している喜一郎のモノづくりへの想いをシリーズで紹介します。

「材料問題を解決せずに自動車の製造に取り掛かる事は、土台を作らずして家を建てるようなものであります。」

1936(昭和11)年11月1日発行のトヨタニュース第9号に掲載された「準備は出来た トヨタは邁進します」と題した所感の一部です。3年間の準備期間を回顧しつつ、工場の内部的観察を報告するくだりでの言葉になります。

当館では、自動車製作にあたり、重量の80%を占める鉄をいかに重視していたかを語る言葉として自動車館内の材料試験室の壁に掲示されています。



当時の主な出来事

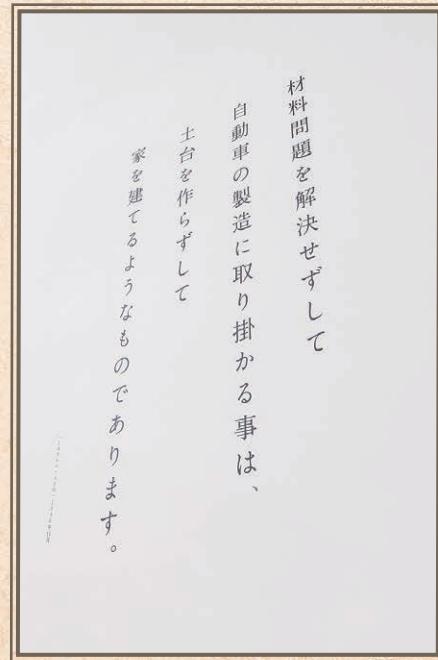
- 1933(昭和8)年9月
自動車部開設
- 1934(昭和9)年3月
(材料試験室を含む)自動車部試作工場完成
- 1934(昭和9)年7月
製鋼部製鋼所完成



赤れんがの壁や塵突、のこぎり屋根の跡が残されているこちらの動力の庭では、紡績工場当時の貴重な遺産をご覧いただけます。赤れんがはエントランスロビー側の物が最も古く、大正時代に積み上げられました。

そして、動力の庭の中心部には、当時電力を供給するための蒸気機関が置かれています。現在は、煙突の基礎が遺構として展示されています。

さらに、空に向かって真っすぐ伸びている大きな木は榎です。四季によって変わる動力の庭のさまざまな表情も併せてお楽しみください。



ここに注目!

私のイチオシ

動力の庭から見た風景

展示 伊東奈央

ここに注目!

のこぎり屋根

電気が普及していなかった当時、日差しの強弱に左右されずに、布や糸の検査を行えるよう、北側に窓を構えたのこぎり屋根が設置されました。



ここに注目!

じんとつ 塵突

赤れんがの壁にある少し高い二つの建造物は塵突といいます。綿を混ぜ合わせたり、繊維をほぐす際に出る綿埃を落とし、残った空気を外部に排出するための設備です。



INFORMATION

トヨタコレクション企画展 (時の計りかた～和時計に見る“時感”と“からくり”～)

開催日 2019年4月20日(土)～6月9日(日)

現代生活に欠かせない時計。夜明けと日暮れに合わせた生活のリズムで暮らしていた江戸時代、昼と夜とが違う進み具合の和時計を作り出しました。そこに潜む日本人の「時感」と「からくり」をご紹介いたします。



開館25周年記念
特別イベント

ナリノリ
ウイーク
エンド

2019年6月11日、
おかげさまで当館は開館25周年を迎えます。
皆様への感謝の気持ちを込めて特別イベントを開催!
是非、ご家族お揃いでお楽しみください!

2019.6.8土9日

入場
無料



トヨダAA型乗用車



トヨダG1型トラック

同乗試乗会
懐かしの名車に乗ってみよう!



初代クラウン



カローラスプリンター



初代セルシオ

走行報露 いつもは館内にある貴重な2台が走行するよ!
トヨダAA型乗用車 トヨダG1型トラック

手織り体験!
タペストリーづくり
参加費 500円

布を織るってどうやるの?
実際に体験してみよう!

動くロボットや
クルマを
ブロックで
つくろう
レゴブロックを使った動く
ロボットを作るよ!

“重ね捺しアート”
スタンプアート
スタンプを重ねていくと
1つの絵柄になるよ★

特別ガイドツアー



夏休み 発見☆体験ミュージアム

開催期間

8月17日(土)・18日(日)

7月20日(土)～9月1日(日)は
夏休み期間中 小学生入場無料

2019年3月30日(土)・31日(日)

「春休み 発見☆体験ミュージアム」を開催

小中学生以上を対象にした春の恒例イベント「春休み 発見☆体験ミュージアム」を、3月30日(土)、31日(日)の2日間にわたり大ホールで開催しました。電子部品をつなぎ合わせて、金属製品などが電気を通すかを調べる「簡易通電チェッカー」、当館で織った布を裂いて、紙皿をつかって丸く織る「オリジナルコースター」、テープ状に切った紙をまいてつくった紙ぜんまいの力で車が走る「ぜんまいレースカー」の3プログラムを体験していただきました。会場は連日たくさんの親子連れで大賑わい。子どもたちはじっくり根気よく取り組み、時には親子で協力して完成させると達成感いっぱい!笑顔があふれる2日間となりました。



2019年3月30日(土)

第8回 さんぎ大学講話会開催

株式会社木村電熔機製作所 元代表の木村治夫様には「真のレストアを目指して」と題して産業遺産としての古いクルマのレストア活動のお話をいただき、当館職員の桔梗は「終戦直後の国産プレス機の考察」について、当館展示のプレス機の分解調査を基に当時の時代背景とプレス機の特徴を紹介しました。



2019年4月19日(金)

La Festa Primavera 2019

クラシックスポーツカーの魅力を伝え、歴代の名車が次世代へ継承されることを願い今年も熱田神宮からスタート。当館は昨年同様、2カ所目のスタンップポイントとして協力。堺正章さんも参加され、名古屋市の広沢副市長や名古屋おもてなし武将隊の織田信長さんも駆けつけていただき、大変盛り上がりました。



2019年5月19日(日)

入館者累計600万人達成

1994年6月11日の開館以降、入館者が600万人となりました。600万人目となったご家族には、当館専務理事の山口千秋より認定証、館長の飯島修より記念品が贈られました。



自動車館リニューアル工事予定

自動車館2階展示場を一部閉鎖させていただきます。

期間:8月下旬~12月下旬(予定) 詳しくはホームページにてお知らせいたします。

INFORMATION

都合により、変更させていただく場合がございます。詳しくはトヨタ産業技術記念館までお問い合わせください。

週末 Workshop ワークショップ

次世代を担う子どもたちが「モノづくり」に興味を持ち、豊かな創造性を育むきっかけとなる各種プログラムを用意しています。ぜひご参加ください。

他、多数プログラムを開催

受付
期間

7月開催分 6/1(土)～6/13(木)

参加申し込みはホームページから

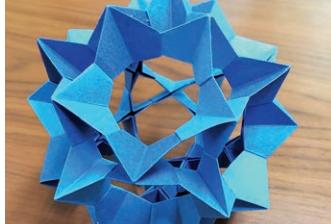
8月開催分 7/1(月)～7/11(木)

トヨタ産業技術記念館

検索

問い合わせ 052-551-6003

参加希望者が定員を上回る場合、抽選となります。詳細はホームページをご覧ください。



7/
20
土

かんばつ材で
モノづくりをしよう

8/
24
土

ユニット折り★
多面体を学ぼう



中高生対象



8/
3
土

キミのスマホを高級オーディオに!
小型ヘッドフォンアンプの
製作でモノづくりの歓びを!

参加費 500円 ※入場料別途必要

8/
23
金

キミも博士になろう!
金属めつき実験講座

参加費 1,000円 ※入場料別途必要

参考料金 500円 ※入場料別途必要

ミュージアム ショップ



1/43
「AA型ミニカー」
好評発売中

3,350円(税別)

トヨタ産業技術記念館の開館25周年に合わせて、新たに製作したトヨダAA型乗用車1/43ダイキャストモデル。専用のハードケースに発売当時のカタログ(ミニカタログ)も入れ、販売価格も1936年にAA型が発売された時と同じ価格の3350円(税別)。ご来館記念に是非どうぞ。

図書室 体験教室 連鶴をおろす! 参加費無料

- 7/27(土) 1日2回(13:00～14:00、15:00～16:00)
- 20名/回(各回30分前より受付開始)
- 対象は小学生以上、大人の参加も歓迎
- 江戸時代から続く伝統的な折り方を習って、1枚の和紙で連なった鶴を完成させましょう♪



図書室 絵本をつくろう! 参加費無料

- 8/3(土)・4(日) 9:30～16:30
- どなたでも参加いただけます。
- 雑誌を切り抜いて貼って自分でだけの絵本をつくりましょう♪



Brick Age RESTAURANT

BrickAgeはディナーパーティレストランとしてもご利用いただくことができます。長い歴史を持つ当館は、祭事や祝い事にピッタリです。



人気の葉膳石鍋スープカレーランチ 1,300円(税込)



様々なシーンでのパーティにお応えします。お気軽にご相談ください。

【営業時間】11:00～17:00(16:30ラストオーダー) 【TEL】052-551-6243

※当館Webサイトには現在のメニュー情報や団体様用お弁当情報など、詳しく記載されています。
※17:00以降は貸切パーティも可能です。ご予算や内容など、ぜひご相談ください。



無停止杼換式
豊田自動織機(G型)



トヨダスタンダードセダン
AA型乗用車

ご案内

- 開館時間／9:30～17:00(入場受付は16:30まで)
- 休館日／月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始 ※8/13(火)は開館
- 入場料／大人500円・中高生300円・小学生200円
- 団体割引あり
- 学校行事での入場は半額(小学生・引率の先生は無料)
- 65歳以上の方は無料
- 障害者手帳をお持ちのご本人とその付添の方1名は無料

交通

- 名鉄／名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分
- なごや観光ルートバス「メーグル」／名古屋駅バスターミナル11番のりば 「トヨタ産業技術記念館」(敷地内)下車すぐ
- 「名古屋駅」からタクシー利用で5分
- 無料駐車場(乗用車220台、大型バス10台)



トヨタ産業技術記念館
〒451-0051 名古屋市西区則武新町4丁目1番35号
TEL:052-551-6115 FAX:052-551-6199



Webサイトは
こちら!

<http://www.tcmit.org/>

